

平成25年白老町議会建設厚生常任委員会協議会会議録

平成25年 1月30日（水曜日）

開 会 午前11時30分

閉 会 午前11時54分

○会議に付した事件

1. バイオマス燃料化施設について
-

○出席委員（6名）

委員長 西田 祐子 君	副委員長 広地 紀彰 君
委員 氏家 裕治 君	委員 大淵 紀夫 君
委員 吉谷 一孝 君	委員 及川 保 君

○欠席委員（1名）

委員 松田 謙吾 君

○説明のため出席した者の職氏名

副 町 長	白 崎 浩 司 君
生活福祉部長	須 田 健 一 君
生活環境課長	竹 田 敏 雄 君
生活環境課主査	湯 浅 昌 晃 君

○職務のため出席した事務局職員

参 事	熊 倉 博 幸 君
書 記	小山内 恵 君

◎開会の宣告

○委員長（西田祐子君） ただいまより建設厚生常任委員会協議会を開会いたします。

（午前11時30分）

○委員長（西田祐子君） 本日はバイオマス燃料化施設につきまして、担当課より説明をいただきたいと思ひます。

白崎副町長。

○副町長（白崎浩司君） お時間をいただきありがとうございます。私のほうから今回の新聞報道等についての取り扱いについて、若干ご説明させていただきたいと思ひます。

1月25日に一部の報道機関のほうから白老の焼却施設、リサイクルセンターの今後の方向性というようなことで新聞報道されました。このことにつきましては、非常に重要な案件の事案というようなことで、議会あるいは常任委員会とも所管事務調査の中で協議を進めているというような事案で、町側で説明すべくタイミングを図っていた中でございますけれども、その前に、皆さんへの説明の前に新聞報道がされたというようなことで、私どもの取り扱いが十分でなかったということに対して、まずはお詫び申し上げたいというふうに思ひます。

書いていることの協議といひますか、事務方で進めているということについてはこのとおりなのですが、十分この方向性を押さえた中で、議会のほうにもご説明をしてというようなことで段取りをしていたわけですが、再度言ひますけれども、事前に新聞報道されたというようなことで、議員さんはまだ承知していない中で広く周知されてしまったというようなことの結果の取り扱いについて、十分自分たちの情報の危機管理の甘さというようなことを深く反省したいというふうに思ひております。あわせて、町の職員として、報道機関への対応の仕方、あるいは取材のあり方、これらにつきましても十分今後気をつけていきたいというふうに思ひておりますので、一連のことをこの後説明させてもらひますけれども、冒頭この新聞に出たというようなことに対して深くお詫び申し上げたいというふうに思ひます。

この後は部長のほうから説明させていただきます。

○委員長（西田祐子君） 須田生活福祉部長。

○生活福祉部長（須田健一君） それでは、一連の報道を受けまして、実際に登別市との相談がどのように進められていたかという、今後の予定等ご説明させていただきたいと思ひます。

まず登別市との報道にいたった中で、実際の協議の結果ということで、実は当然燃料化施設の大きな問題ということで改善計画検討委員会を設けながら対策を検討してきたと、それに合わせて担当のほうもいろいろと方針等をまとめていく作業を進めていた中で、実は当然燃料化施設で分別だとかそういったものも検討してございました。その中で、処理施設で例えば分別して塩素の高いものを除く、そういったことを考えた場合に、除いたものをどう処理するかということがいろいろ出できます。また計画を縮小などした場合どういふ影響が出るか、そういったごみをどこでどういふふうに処理するかというのを考えなければならなかったというこ

とでございます。その中で、方法としては、直接埋め立てするだとか、焼却するだとか、堆肥化するだとかいろいろな方策があるかと思いますが、その中の一つとして、現在も登別市さんと広域処理を進めさせていただいてございますので、不燃ごみの処理、資源ごみの処理ということで従来可燃物もお願いしていた経過がございますので、一部そういったごみをお願いできないかどうかを、12月19日に事務レベルでご相談をさせていただいたところでした。当然、そういう考え方がちょっとありますよと、その中でそういったごみの受け入れが可能なのでしょうか。また可能な場合、費用はどのくらいになるのでしょうかとか、そういった試算をちょっとしていただけないかというお願いをしたという経過でございます。その経過の中で、現在は細かい点について検討、協議を若干させていただいているという状況でございます。実際にそれが登別市さんをお願いしますという結論を出した上での相談ではまだないということでお話をさせていただきたいと思います。

今後の燃料化施設関係の予定について資料で配付させていただいている2番目のところに記載してございますが、まず燃料化施設の検討委員会の報告書の提出が、2月5日に町長のほうに提出される予定になってございます。これらを踏まえて町としては議会と日程の調整をさせていただいて、今後の燃料化施設の運転方針、予算の関係等々を委員会協議会や全員協議会などでご説明させていただきたいというふうに現在考えているところでございます。

また今登別市さんとのやりとりの中で、2月8日に生活福祉委員会があるということで、この一連の報道を受けて、12月19日に相談を受けた旨の報告をさせていただくということになってございます。ですから、白老町のほうから事務レベルで相談を受けたということは正式に生活福祉委員会の中で登別市さんのほうから伝わるということになってございますので、情報としてご提供させていただきます。ただ中身についてはまだ詳細には詰めてございませんので、登別市さん側ではあくまでも白老町から相談を受けたという事実は確かですというレベルのお話をするだけというふうに情報を聞いてございます。

大変ご迷惑をお掛けしましたが、そういう予定で、詳細については委員会の報告を受けて固めてからご説明させていただきたいと考えてございますので、よろしくお願いたします。

○委員長（西田祐子君） この件につきまして、今回特にお伺いしておきたいという事項はございますか。担当課の説明では、2月5日に日燃料化施設改善検討委員会の報告が出るということですので、その詳細については今はまだ検討中ということでございますけれども、今回のこの新聞報道についての議会に対しての説明というふうに受けとめておりますけれども、このことにつきまして何かございますか。

○委員（氏家裕治君） 氏家です。この新聞にすっぱ抜かれたというか、どういう言い方かよくわからないけれども、常任委員会の中でも広域処理も一つの方法だとかそういったことも出ていましたよね。ただそれも確定ではないだとか、そこには報道機関の方たちもいた中での議論でした。でもその中では、まだまだそういったものをここでこういう方針だということを示せる段階ではないと私たちも聞いていたし。僕たちは結局そういったことはあくまで水面下で、担当事務レベルである程度そういう形もあるのではないかと、こういうやり方があるのではないかと

かというふうに、一つのやり方として、改善検討委員会等々もやっていますし、自分たちは自分たちで、こういうやり方もあるのではないかという一つの方法・手段としてやってきたことが新聞報道でもってすっぱ抜かれて、行政自体を責めるわけにはいかないのかもしれないけど、脇が甘いとか言いようがないなど。ここで説明できないと言っていることが新聞報道で出てしまったら、それを読む町民は、こういう話になったのかとなるわけだから。それはやっぱり行政側の脇の甘さというのは認めないといけません。これだけではないでしょう、今まででもずっとこの経過ありましたよね。注意しないといけないことは注意しないといけないし、もっともっと慎重にやらなければいけないことだと思います。ですから、新聞報道が出たこと自体についてはこれ以上何を言っても始まらないわけですから、これからの改善検討委員会の中で今回どういうふうにまちとして考えていく方針なのか。今度それをしっかり議会に示していただければ、それで僕は構わないと思います。

○委員長（西田祐子君） 須田生活福祉部長。

○生活福祉部長（須田健一君） 氏家議員のほうから我々の情報管理のあり方、脇の甘さというところについては十分反省してございます。この辺については、今後これを機にもう少し情報の出し方というのも勉強していかなければならないのかなと思ってございます。ですから、全てまとまってからということでもなく、情報を整理しながら、出せるところについては出すということもあったのかなということと、実際に登別市さんとは水面下で相談させていただいてございましたので、この間の火災のときに町の方針は後日説明させていただきたいという話をした中でも、ちょっと、そういうことでさせていただいています程度のことはお話しできたと思っていますので、そういうところでは我々もその情報の使い方、出し方、そういったものも考えていかなければならないと十分反省してございます。

○委員長（西田祐子君） 大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） 新聞のことはいいです。確認したいのだけど、6日の生活福祉委員会ではあくまでも結論は出ていないと。新聞報道の範囲ということだけはきちっと確認しておきたいと思います。

もう1つ、5日に報告書ですませようね。これは議会との関係で、うちの常任委員会所管ですから、報告書含めて我々はなるべく早く見たいのです。それはどうしてかということ、3月議会の対応を含めてあります、予算の問題も含めてだけど、町がこの報告書に基づいて方針を出すというのはわかります。我々も同時に報告書を非常に見たいです。例えば、新聞など含めて会議は公表すべきだというのは原則中の原則です。うちは平成4年から全ての議会、協議会含めて公開しているわけですから、はっきりしているのです議会の立場。しかし議会より先にとというのは、これは容赦勘弁できません、議会としては。話にならないということです。そのことは今のことではなくて、何を言いたいかといったら、報告書はきちっと記者会見なりして発表するのか知らないけれども、出てくるわけですよ、5日に。公開する前とは言わないから、少なくとも議会には早く提示をしてほしいのです。そうでないと、もうこんなことが続いたら全然だめです。ですから、そこはどういう形でこの報告書が我々のほうに渡るのかということ。

それから、方針が出た段階で最も早く、最も早く全員協議会なりを開くということになると思うのだけど、それは大体いつ頃になるのか。その2つだけきちっとしておきたいと思います。

○委員長（西田祐子君） 白崎副町長。

○副町長（白崎浩司君） 日程は詰めていますけれども、これは公に町がお願いした機関の報告書ですから、これをどうのこうのということではなくて、それは速やかに議会のほうには提出したいというふうに思います。

○委員長（西田祐子君） 須田生活福祉部長。

○生活福祉部長（須田健一君） 今のこの報告書の件については、事務局と相談してどのように早く渡るかを考えながらやらせていただくと。

もう1つ、説明の日程ですが、基本的には中旬にはお話をしたいと。それも議会のほうと調整をさせていただいて、日程のいいときに合わせてやりたいというふうに思っています。ただ若干報告書出て方針固めて整理していく中での調整もごきますので、少しお時間をいただきたいというふうに考えてごきます。

○委員長（西田祐子君） 広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 1点だけお伺いします。今みたいな対応が大変ありがたいのです。今後の流れについては理解しました。氏家委員のほうからもありましたから、つべこべ言いませんけれども、やっぱり私のところにも新聞報道を受けて電話来たのです。知らなかったでは済まされないです。私も知らなくて実は新聞で知ったなんて話にならないです。やっぱり負託受けている立場として、私たちにも責任があるので、今須田部長のほうからあったように、例えば、そういった可能性も含めてそこは排除しませんと、あらゆる可能性を探りながら、関係機関とも協議を進めながらやっていますと、そういう話で、そういう考え方だったと思うのです。別にかじをそっちに切ったとか、そういう形ではないと思うのです。それより逆に真剣な態度としてこういうようなあらゆる可能性を排除しないのだと、そういうお話をいただければ今回納得できる余地はあったと思うのです。今もう早速のお答えいただいていますけれども、このように可及的速やかな形で情報の公開などいただきたいというふうに考えます。

○委員長（西田祐子君） 白崎副町長。

○副町長（白崎浩司君） 私も立場からいえば今回の事案だけではなく、町の行政情報というのはどのタイミングでお知らせできるような状況なのか、それで一番判断に迷うのは、その情報がどこまで自分たちが整理できていて、どのような受け答えの中でどの程度の割合で情報提供できるか。頭出しだけなのか、ある程度中身の伴った状態でいいのか、そこら辺の判断が非常に難しく、今までもこういうように先に報道機関に報道されたとか。されたと言うと語弊がありますか、報道が先に出たとか。そういうようなことも今までのいろんな事案で事例があるのですけれども、そこら辺は、先ほど部長が言いましたけれども、やはり今こういうようなことを検討していると、別に隠し立てすることではなくて、先ほど氏家委員言いましたけど、委員会でもそういういろいろ検討してみたらというような話があった延長線上ですので、その辺は、例えばこういうような検討しているよ、ただまだまだちょっと押さえ切れていない

部分あるからその情報は次回にしますよとか、そういうようなお互いのキャッチボールをこれからもしていきたいと思えますし、やはり今回を教訓に、情報管理のあり方、それからタイミング、そこら辺をこれからも十分気をつけていきたいというふうに思っています。

○委員長（西田祐子君） 広地副委員長。

○副委員長（広地紀彰君） 今回のこの新聞報道にかかわって、道や国、登別市さんとか関係機関に対して影響はなかったのかどうか確認させてください。

○委員長（西田祐子君） 須田生活福祉部長。

○生活福祉部長（須田健一君） このバイオマスは国の交付金が入っている事業でございますので、若干国のほうに伝わったのかどうかまでは確認できてございませんが、道のほうにはいろいろと情報は事前にさせていただいていましたので、そういった面では特別どうのこうのということにはなってございません。

○委員長（西田祐子君） 白崎副町長。

○副町長（白崎浩司君） そういうような影響もあつたら困りますので、今道のほうは言いましたけれども、私のほうで当日登別市さんに直接電話しまして、どのような影響あるかというのは別にして、登別市さんのほうもまだ議会のほうに何もやっていない状況ですので、ご迷惑をお掛けしましたということでの話と、それとあわせて先ほど来言っているような事柄を含めて、報道した報道機関への申し出といたしますか、それも若干させていただきました。

○委員長（西田祐子君） それでは、先ほど大渕委員から質問ありましたけれども、報告書の配付はお願いしたいのですが、これについては2月中旬の説明でよろしいでしょうか。

須田生活福祉部長。

○生活福祉部長（須田健一君） 改善計画の検討報告書の内容については、委員会協議会をお願いして実際に燃料化施設の今後の方針等をお話ししていくと同時に、その中身のことについてはご説明をさせていただきたいというふうに考えてございます

○委員長（西田祐子君） 本日はバイオマス燃料化施設の新聞報道についてということでしたけれども、2月中旬に行われる全員協議会か委員会協議会の席で当委員会から9月と12月に出した報告でございますので、そういうものも踏まえながら報告していただければと思います。

長い間かかりまして、担当課のほうもなかなかうまくいかない状況の中で悔しい思いもたくさんしていると思えますけれども、ここはもう山場なのかなと。今やっぱり行政として判断し、また議会もそれに対していろいろな意見を言ってきたわけですから、何とかいい方向にいけばと願っておりますので、ぜひそのときにはいい知恵を出していただければなと思っております。ほかの委員さんご質問なければ、以上で終わりたいと思えますけどよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎閉会の宣告

○委員長（西田祐子君） それでは、以上で建設厚生常任委員会協議会を閉会いたします。

（午前11時54分）